

# 鳥取市将来推計人口の試算

## 1 社人研推計による鳥取市の将来推計人口

将来推計人口	2040年：156,135人
	2060年：119,998人

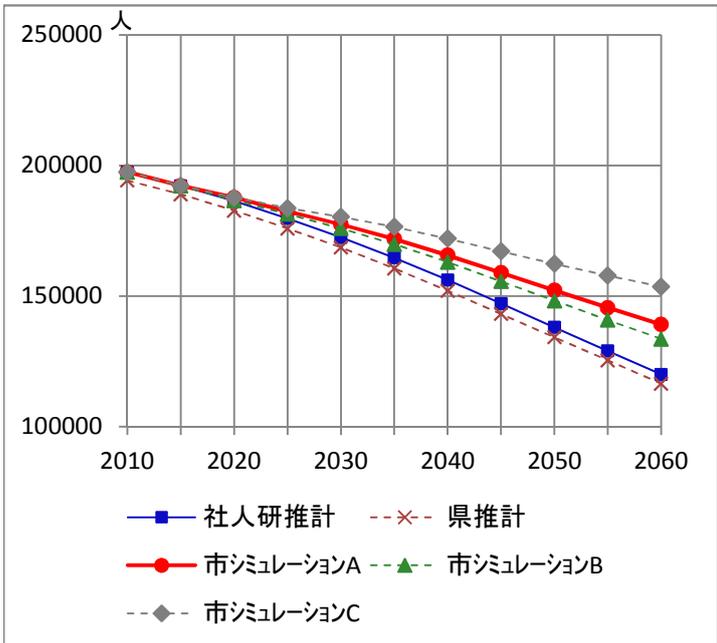
※社人研：国立社会保障・人口問題研究所

## 2 鳥取市の将来推計人口のシミュレーション結果

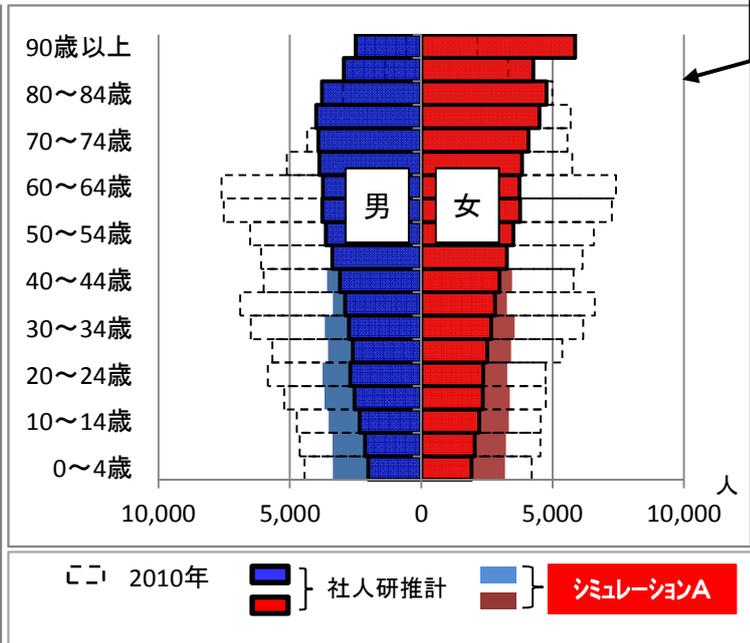
社人研推計をもとに、合計特殊出生率と社会移動の状況を変化させたシミュレーションを3パターン実施  
 なお、合計特殊出生率は最新の数値1.55（2013年）を用いて推計。  
 ※鳥取県推計における基準人口は2013年10月1日現在の直近人口から起算したものである。

シミュレーションA	①③社人研 ②鳥取県推計準拠	➔	2040年：165,639人 2060年：139,077人
<b>【推計条件】</b> ①基準人口：2010年10月1日現在（国勢調査） ②合計特殊出生率：1.55（2013年数値）が2020年に1.8（希望値）に、2030年には2.07（人口置換値）に上昇すると仮定 ③社会移動の状況：今後10年をかけて移動率を約0.5倍に逓減し、その後は一定			
シミュレーションB	①社人研 ②市仮定値 ③鳥取県推計準拠	➔	2040年：163,014人 2060年：133,568人
<b>【推計条件】</b> ①基準人口：2010年10月1日現在（国勢調査） ②合計特殊出生率：1.55（2013年数値）が今後も続くと仮定 ③社会移動の状況：今後10年をかけて移動率を約0.5倍に逓減し、その後は社会増減ゼロ			
シミュレーションC	①社人研 ②③鳥取県推計準拠	➔	2040年：171,976人 2060年：153,594人
<b>【推計条件】</b> ①基準人口：2010年10月1日現在（国勢調査） ②合計特殊出生率：1.55（2013年数値）が2020年に1.8（希望値）に、2030年には2.07（人口置換値）に上昇すると仮定 ③社会移動の状況：今後10年をかけて移動率を約0.5倍に逓減し、その後は社会増減ゼロ			

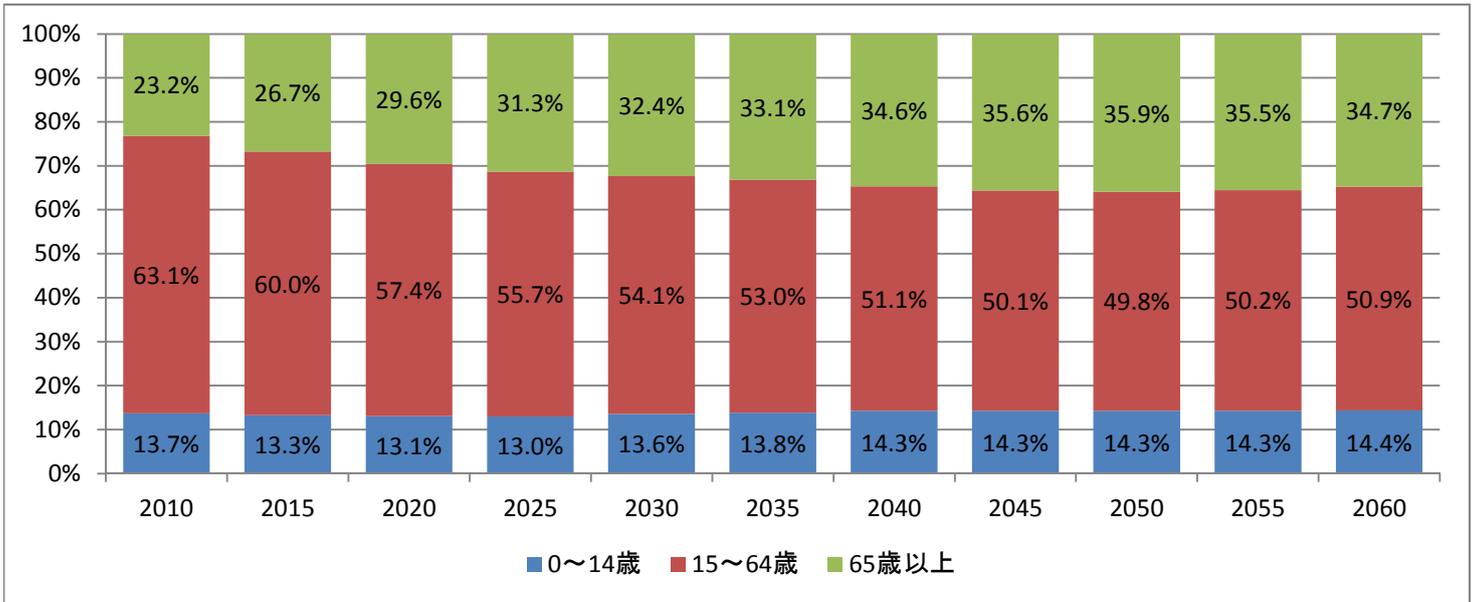
《総人口の推移》



《2060年の人口構成》



〈参考：シミュレーションAによる年齢3区分別人口の推移〉



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0~14歳	27,249	25,494	24,552	23,666	24,069	23,781	23,693	22,729	21,746	20,790	20,011
15歳から64歳	124,525	115,338	107,694	101,575	95,878	91,162	84,577	79,569	75,836	73,032	70,741
65歳以上	45,675	51,398	55,473	57,111	57,434	56,935	57,370	56,608	54,592	51,670	48,325
合計	197,449	192,230	187,719	182,352	177,382	171,878	165,639	158,907	152,175	145,492	139,077

〈2060年の人口構成〉

〈シミュレーションB〉 総人口133,568人

〈シミュレーションC〉 総人口153,594人

◇合計特殊出生率:1.55(2013年数値)が今後も続くと仮定

◇合計特殊出生率:1.55(2013年数値)が2020年に1.8(希望値)に、2030年には2.07(人口置換値)に上昇すると仮定

◇社会移動の状況:今後10年かけて移動率を約0.5倍に還元し、その後は社会増減ゼロ

◇社会移動の状況:今後10年かけて移動率を約0.5倍に還元し、その後は社会増減ゼロ

